

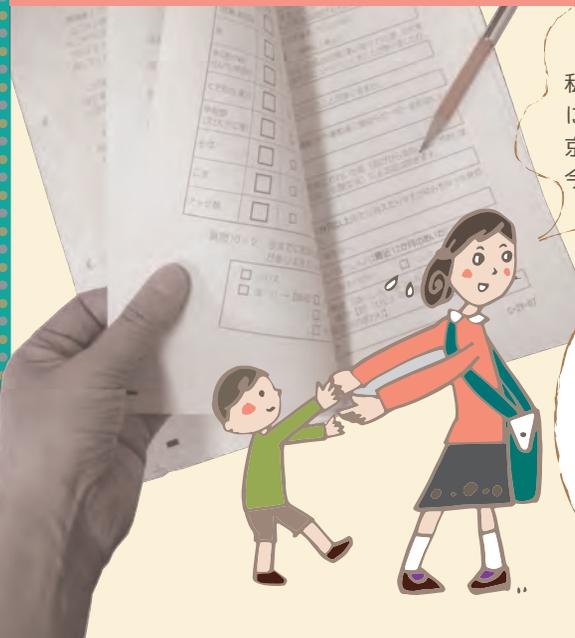
# エコチル どすえかわら版

Vol.11

エコチルどすえかわら版 はエコチル調査京都ユニットセンターと京都・長浜・木津川の参加者の皆さまを繋ぐ会報誌です



## 質問票に答えていると、あれこれ・・・



呉先生、はじめまして。  
私は京都地区でエコチル調査  
に参加しているんですが、  
京都大学には初めて来ました。  
今日は、よろしくお願いします。

こんにちは、えこさん。  
ゆうくんと一緒に来てくれたんですね。  
ここまで来るのは大変だったでしょう？  
ぼくは小児科医で、もう大人になった2人  
の娘がいます。もしかしたら、毎年夏に開  
催しているエコチルフェスタや各地の小規  
模のイベントなどで、すでにお目にかかっ  
たことがあるかもしれませんね。  
こちらこそ、よろしくお願いします。



**呉 東進** (ごう とうしん)

京都大学大学院 医学研究科  
エコチル調査京都ユニットセンター  
特定教授・小児科医

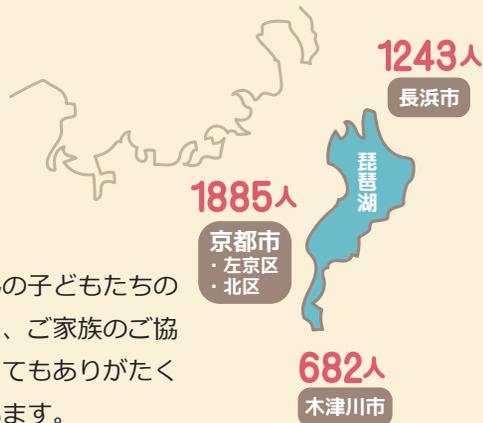
### Q1 3つの地区で、それぞれどのくらいのエコチルキッズが参加しているのですか？

**えこさん** エコチルフェスタ、私も京都地区で参加しましたよ。楽しかったです。そういえば京都ユニットセンターは3つの地区に分かれていたんですよね。3800人くらいのエコチルキッズがいるって聞いたことがあるのですが、京都地区・木津川地区・長浜地区のそれぞれの地区で、どのくらい参加者の方がいるんですか。

**A** 2016年12月末の段階で京都では1885人、長浜では1243人、木津川では682人のエコチルキッズが参加しています。

呉先生

たくさんのお子様たちのご参加と、ご家族のご協力を、とてもありがたく感じています。



**えこさん** 私は京都市の左京区に住んでいます。私自身は車を運転しないんですが、地域によっては子育て中は車は必須アイテムなんだろうな・・・と感じます。京都ユニットセンターの3地区だけを比較しても、子育ての環境はずいぶん違うんだろうなあって思いますが、沖縄から北海道まで全国に15か所もユニットセンターがあることをイメージすると、子どもを取り巻く環境の違いはなおさらですよね。調査の結果は、とても楽しみです。



・・・でもね、先生。

**呉先生** どうしたんですか。えこさん。少し元気がないように見えますが・・・？

**えこさん** 春に向けて、ゆうの入園の準備もあるし、「質問票を書く」ということに、私はちょっと疲れてきました・・・。今日は、私から先生に「質問」をしたいんです！

**呉先生** どうぞ、えこさん。でも、答えにくい質問には×を付けてしまってもいいですか？(笑)

**えこさん** え！先生、そのフレーズは、エコチルの質問票にも書いてありますね。もちろん、質問には「できる範囲」でお答えくださいね。



## Q2 質問票は、いつ提出してもいいんですか？

えこさん では先生、質問です！  
ゆうは9月5日が3歳の誕生日  
だったんですが、3歳の質問票が  
8月の中旬に届いたんですよ～。  
これって、届く時期が早くない  
ですか???



質問票には、「届いてから2週間を目安に記入を」って書いてありますよね。でも、私は「3歳の質問票」は、「3歳になってから」記入したいんです・・・。  
ほら、このくらいの子って、ある日、急にできるようになることってありますよね。ちょっと遅くなりますが、お誕生日まで待ってから回答しても、いいでしょうか。同じように感じているエコチルママも、いるんじゃないのかなあと感じているんです。

A 保護者の皆さんのお気持ち、よくわかりますよ。もちろん、質問票で指定している年齢になってから回答してもらって結構です。できれば、到着後1か月以内に返送していただくと助かりますね。

## Q3 「質問票」って、ちょっとプレッシャーになる時も・・・

えこさん それから、先生、質問票にはエコチルキッズの「日常生活」に関連した質問項目がありますね。ゆうの成長が楽しみではあるんですが、「あれができますか」「こんなことをしていますか？」と聞かれると、「あ！もうこんなことができないといけなないかな？」「ゆうは、まだ全然できていないわ～」と気になってしまうんです。集団生活を始めている子、始めている子で違いもあると思いますし、そういったことをお伝える記入欄もあるのですが、やっぱり気になって。質問票には「その年齢の子どもたちができること」や、「できて当然のこと」が書いてあるんでしょうか？

A 子どもの発達にはバラエティーに富んでいるので「質問票に書いていることができないとダメ」  
吳先生 ということではありません。

「早くできたから上手になる」というわけでもありません。ですから、あまり気にせず回答してくださいね。



## Q4 難しい文章で質問されても、わからないんです・・・

えこさん それから先生、質問票の文章が難しいな、と感じるところがあるんです・・・。  
もっと、わかりやすい言葉で聞いてくださったら、私も答えやすいんですが。どうして、このような長～くて、わかりにく～い文章なんですか？

A 質問の各項目は世界で標準的に使われている尺度から翻訳して使われていることが多いと  
吳先生 いうことと、作成者が誤解を少なくするために、かえって固い表現を使っているためかと思います。参加者の方にお目にかかって質問させていただく場合は違い、質問全部を文章で表現するとどうしても難しくなってしまうかもしれません。どうかご理解ください。

## Q5 自分自身の気持ちは難しいんです



えこさん 後半に「子どもに対する親の気持ち」への質問があることがありますね。これも難しいです・・・。  
だって、日によって、自分の気分は変わりますし、どのタイミングで記入したらよいか、ちょっと戸惑ってしまいます。前半の質問に回答した日と同じ日に記入しないとだめでしょうか？

A 心配しないでください。同じ日でなくてもいいですよ。考え出すと悩んでしまうかもしれませんが、パッと頭に浮かんだことをサラッと書いていただければいいかと思います。

えこさん 「パッと。サラッと。」ですね。

## Q6 調査の結果発表は、いつなの？

えこさん 昨年(2016年)に、すべてのエコチルキッズが2歳になったと聞きました。と、いうことは2年分？  
あ、私は妊娠中からエコチル調査に参加していたから、調査全体としても、質問票のデータは随分集まっているということですよ。集計結果は「エコチルだより」で、グラフの形で時々公表されていますが、そこから「わかったこと」を知りたいんです。例えば「あかちゃんには、これはダメです」とか、「あれを使ってはいけません」とか・・・。具体的にわかってきたことはないんですか？いつになったら、教えていただけるんでしょうか？

A 妊娠中にお母さんからいただいた血液などの解析は、現在進行中です。これから少しずつ論文などで発表されていく予定ですが、まだまだ時間がかかります。また、皆さんからいただいたデータは、将来新たに発見されるような知見について振り返って調べる場合の貴重な資料にもなるのです。  
例えば、京都ユニットセンターの各地で実施したプレママ講座でも紹介した「葉酸」についてお話しします。

えこさん 「葉酸」ですか！耳慣れない言葉でしたが、私も妊娠をきっかけに言葉を知り、関心を持つようになりました。けれど、今年58歳になる私の母にたずねても、一体何のこと??という雰囲気でした。昔は妊婦さんにも知られていなかったことなんですか？

A 葉酸の摂取に関しては、ノルウェーで1999年からスタートした「大規模出生コホート調査」  
吳先生 でわかってきたことなので、えこさんのお母さまが妊娠時期にご存知なかったのは無理もないことです。「妊娠初期の葉酸の摂取によって子どもの言葉の遅れや自閉症の発症が少なくなる」という結果は、この調査の結果でわかってきました。時間はかかりますが、こういう役に立つ結果が、何年も後に日本のエコチル調査からも出て、世界中の子どもたちの役に立つことを期待しています。



えこさん 私たちが、遠い国の調査による恩恵を受けているなんて、考えてもみませんでした！私は今34歳だから・・・ゆうが13歳になるころには44歳！それから5年間も調査の解析を行うということは、結果がわかるころには、私は50歳を超えているのかもしれないね！  
長いようで、あっという間なのかもしれません。ゆうも18歳。どんな子になっているのかしら・・・。



## データを見てみると～京都ユニットセンター～

コアセンターからは年2回「エコチル調査だより(全国版)」が発行されています。少しずつですが参加者の皆さまからいただいたご回答の結果が発表されていますが、エコチルママの年代別の表で紹介していることが多いですね。そこで、京都ユニットセンターでは、3地区で調査にご参加のエコチルママの年齢の分布をご紹介します。今後、エコチルだよりをご覧になる際に参考にしてください。



・登録時点(ドクターT1調査票)での年齢です。  
・多胎の方はエコチルママの人数で集計しています。  
・2回以上ご同意のエコチルママ(お子さまが兄弟姉妹でエコチルキッズのご家庭)は、1人目の登録時の年齢を集計しています。

A ゆうくんの成長が楽しみです。とにかく、えこさん、しばらくは半年に一度の質問票が続きます。あまり深く考えこまずに、気楽な気持ちで質問票におつきあいください。もし、ゆうくんのごことで不安なこと、気がかりなことがありましたら、いつでもご相談くださいね。そのために育児健康相談があるので。

## Q7 有効期限が切れてしまいました・・・

えこさん 先生、ありがとうございました。今日、先生とお話しして、少しすっきりしました。これからも私ができることで調査に参加していきたいと思えます。でも、先生・・・あの・・・実は。

吳先生 どうしたんですか、エコさん。

えこさん こんなふうな、質問票に対して悩んでいる間に返送が遅れてしまって。しかも、返信用封筒を失くしてしまったんです。いまさらですが、質問票を返送したいのですが、どうしたらいいでしょうか。

A 心配しないでください。075-366-7400(京都ユニットセンター)までご連絡いただい  
吳先生 たら、返信用封筒を郵送させていただきます。ぜひ、ご連絡ください。または、えこさんのご自宅にある封筒に切手を貼付してご返送ください。謝礼を発送させていただく際、同額の切手を同封いたします。もし、封筒の有効期限が切れてしまっても、回答済みの質問票を同封して、そのままご返送ください。郵送料は郵便受取時に京都ユニットセンターでお支払いいたしますので、ご安心くださいね。

えこさん わかりました。先生、今日は、ありがとうございました！

※大規模出生コホート調査  
エコチル調査のように多くの人々に誕生から長期間に渡ってご協力いただく医学的な調査





エコチル調査は地域に支えられた調査です ～地域エコチル調査運営協議会～



エコチルリポーター  
京都ユニットセンター（京都地区担当）  
リサーチコーディネーター：原山裕子

毎年秋に京都駅のそばのキャンパスプラザ京都において「地域エコチル調査運営協議会」が開催されます。

第1回目が開催されたのはエコチル調査が始まる前年の2010年でしたので、2016年秋の協議会は第7回目となりました。今回の参加者は43名。京都市、木津川市、長浜市の健康福祉関係の部署の方々、環境関連部局の方々、3地区の医師会の先生方、協力医療機関の先生方、関係のNPO団体、エコチル調査を実施している

主体省庁の環境省、そして調査を担当している京都ユニットセンターのセンター長をはじめスタッフが一堂に会しました。

2011年にエコチル調査が始まってから6年がたち、現在の調査の進捗状況の報告や京都ユニットセンターの現状、今後の予定などが発表されました。

今回取材に行き、初めて協議会に出席しましたが、エコチル調査の必要性や目的を改めて認識し、大切な調査に携わっていることの意義を感じた私です。

エコチル参加者のみなさまには、「1年に2回送付される質問票に回答し、返送する」という地道で煩雑な作業を13年間も繰り返していただくわけですが、長期に渡りますのでその間には生活の状況が変わり、回答・返送も困難になることもあるかと思われます。実際に少しずつ質問票の回収率が下がっているという残念な報告がありました。改めてお一人おひとりが書いてくださる質問票により、この大きな調査が支えられていることを実感しました。

地域を見渡すと、行政や医師会の先生方といった強力なメンバーがこのエコチル調査を支えてくださっていることがわかります。結果への期待は大きく膨らみますが、長いスパンで調査を見守り続け、支え続けてくださるありがたさをかみしめました。

これからも、参加者のみなさまと一緒にエコチル調査京都ユニットセンターは歩んでいきます。

■協議会開催の目的

エコチル調査は、妊娠初期から子どもが生まれて13歳になるまで追跡する研究ですので、産婦人科医、小児科医、医師会、自治体の協力が必須です。このため、研究の中心となる京都ユニットセンターと関係機関の方々との連携が必要となり、「運営協議会」を開催することによって、相互の理解と意見交換を通じて円滑な運営を目指します。

■諸団体からは、このような目に見えるご協力をいただいています。

例えば・・・

- ・夏に開催している「エコチルフェスタ」の共催（長浜市）や後援（京都市、木津川市）
- ・イベント会場のご提供（京都市、木津川市、長浜市）
- ・出産前、出産時、出産後の生体試料採取やデータ記載など（産婦人科医院などの協力医療機関）
- ・特定の疾患に罹患されたお子さまの情報提供など（小児科医院などの医療機関や医師の先生）

ピックアップ長浜地区

エコチル☆ファミリア  
音楽と絵本であそぼう BookRoom@図書館  
12月2日（金）～長浜市・浅井図書館～

たくさんの団体のみなさまからご協力いただいているエコチル調査。イベント会場のご提供として長浜地区の小さなイベントの例をご紹介します。2016年12月、美しいスタンドグラスのある長浜市立浅井図書館のエントランスホールにて「エコチル☆ファミリア」を開催しました。図書館司書の香水さんがクリスマス気分を盛り上げる絵本を読んでくださり、フルート奏者の中川さんが素敵なフルートの生演奏を聞かせてくださいました。エコチル参加者のみなさまへの、ひと足早いクリスマスプレゼントとなったのではないのでしょうか。集いの場として、また、多くの方にエコチル調査のことを知っていただく場として図書館を利用させていただけること、スタッフ一同とてもうれしく感じています。

浅井図書館司書・香水さんより

フルートの演奏とのコラボレーションなど未知の領域で勉強になりました。これをきっかけに、エコチル調査参加者のみなさんに「図書館は楽しむところ！」と思っていただければうれしいなあと思っています。また機会がありましたら一緒にさせてください。



つづいています・詳細調査

かわら版7号でみなさまに詳細調査が始まったことをお知らせしてから、早くも1年半以上が経ちました。全体調査の中から無作為に選ばれた方にご参加いただいているこの調査には、全国で5000人、京都ユニットセンターでは190の方にご協力いただいております。2016年12月末の段階で2歳の医学的検査、精神神経発達検査が無事に終了しました。子育てでお忙しい中、調査にご参加いただきましたみなさまにお礼を申し上げます。ありがとうございます。現在は3歳の訪問調査を行っており、2017年4月以降は4歳の調査も始まります。全体調査のみご参加のみなさまにも、今後かわら版を通して詳細調査の様子をお知らせしていきます。これからも詳細調査の参加者の方を、みなさんと応援していきましょう！



エコチル・メールマガジンより  
いつも笑顔をありがとう -----2016年10月3日 配信

京都ユニットセンターでは、月に2回程度、メールマガジンをお送りしています。メルマガへのご登録方法は8ページをごらんください。

詳細調査にご協力いただいているご家庭を訪問して、おうちの内外の空気の状態を調べる調査を担当しています。お伺いするお家で待っていてくれる子どもたちは、いつも私たちを元気にしてくれます。一度目の訪問で少し仲良くなれた2歳のはなちゃん、1週間後、二度目の訪問時には、玄関を勢いよく開けて満面の笑顔で迎えてくれました。折り紙で遊びながら私が何気なく、「大好きなお友達のお名前教えて」と聞くと、はにかんだ笑顔のはなちゃんは小さな声で「・・・おばちゃん・・・」と答えてくれました。おばちゃんって私のこと??短い時間、一緒に折り紙をしただけのおばちゃんに、こんなに素直に思いを届けてくれるけなげさにじ～んとききました。また、今日のお宅では、私の目の前で一生懸命作ってくれた手裏剣を、瞳をキラキラさせた笑顔のすずちゃんが帰り際に手渡してくれました。調査やイベントでかわいい笑顔、しぐさの子どもたちに出会うたび、とても幸せな気持ちになります。この子たちが大きくなった時、そのままの笑顔で暮らせる環境でありますようにと切に願って、この調査に携わらせていただいています。

----- 京都ユニットセンター（木津川地区担当）リサーチコーディネーター：小西かおり -----



# 各地区のイベントのお知らせ

★対象地区の皆さまにはイベントチラシを同封しております。詳細は、チラシをご覧ください。

## 長浜 エコチル☆ ファミリア

好評のぶちヨガ教室を最後に、今年度の「エコチル☆ファミリア」はすべて無事終了いたしました。ご参加くださったみなさま、ありがとうございます。次年度は、もっともっと心と体がリフレッシュできるようなイベントを企画していますので、ぜひ、ご参加ください！

## 京都 プチイベント

### ■ひなまつりであそぼう！

開催日：3月1日(水)  
場所：北保健センター  
スタッフと一緒に、ひなまつりにちなんだ紙芝居を見たり、歌を歌ったり、工作をして遊びます。

### ■くまごろうものがたり

開催日：3月4日(土)  
場所：京都子どもみらい館  
野生動物の調査に実際に関わっている里山生きもの研究所さんによる人形劇ワークショップです。クマの親子の山でのくらしを紹介した後、クマのスタンプを使ったオリジナルハンカチを作ります。

## 木津川 エコチルカフェ

### ■人形劇

### どうぞのいす プレーメンの音楽隊

開催日：2月25日(土)  
場所：同志社大学  
学研都市キャンパス2階  
木津川地区で活動している「ぐう・ちよき・ばあ」の皆さんといっしょに手あそびしたり、おゆうぎしたり、楽しい時間を過ごしましょう～

## メルマガ登録方法！



ecochil-kyoto@wadm.jp

## メルマガに登録しませんか？

毎月2回程度、京都ユニットセンターよりお送りするメルマガ会員になりませんか。医師や専門家によるコラム

「子育て情報」と、エコチルスタッフによるコラム「ほっとひと息」をお届けしています。新規ご登録の方、アドレス変更のため再登録をご希望の方は空メールを送信してください。氏名のご登録は不要です。次回の配信より皆さまにお届けします。

## 全国 エコチル調査 コールセンター

0120-53-5252

フリーダイヤル・年中無休  
9:00～22:00

全国共通のエコチル調査コールセンターでは、調査についてのお問い合わせだけでなく、育児相談も承っています。看護師、保健師、栄養士など実務経験豊かなスタッフが親身になって対応いたします。お気軽にお電話ください。

## 要予約 育児健康相談のお知らせ

詳細はHPをご覧ください

京都ユニットセンターに登録されているエコチル調査参加者の方を対象に、小児科医が個別に無料で面談して相談にのります。お子さんの健康や発達に関して心配なこと、気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談ください。

※薬や診断書は出ませんので、ご了承ください。  
※前日までにお電話にてお申し込みください。折り返し詳細をご案内いたします。HPのお申し込みフォームからもお申し込みいただけます。

## 申込について 電話番号と電話受付時間★平日のみ

【京都・長浜地区】

TEL: 075-366-7400 9:00～16:00

【木津川地区】

TEL: 0774-65-6066 10:00～16:00



## 質問票返送キャンペーン

6か月～2歳の4つの質問票を全てご提出くださった方に感謝をこめてプレゼントをお送りしてきた「質問票返送キャンペーン」。4歳も引き続きキャンペーンを行っており、以降も継続予定です。お子さまも大きくなられ、日頃頑張っているみなさまに喜んでいただけるようなお品を、スタッフが心を込めて選びました。楽しみにお待ちください。

## 変更はありませんか？

お引っ越しなどで住所や電話番号などが変更になった場合、お手持ちの「登録内容変更届」にご記入いただき、質問票等と一緒にご返送ください。または、京都ユニットセンター（木津川地区の皆さまは同志社大学サブユニットセンター Tel: 0774-65-6066）までご連絡ください。

**編集後記** 寒い毎日、春の訪れが待ち遠しいですね。2012年から発行が始まったこのかわら版も11号。昨年からはページ数を増やし、年に2回の発行としました。お子さまの年齢によってエコチル調査に入られた時期が違いますので、初めの頃のかわら版をご存じない方もおられるかも。そんな方は、ぜひエコチル京都のHP「エコチルどすえ@京都」からご覧くださいね。今回のかわら版も盛りだくさんな内容をお届けしました。ご意見、ご感想などお寄せください！



環境省エコチル調査

京都ユニットセンター

■発行 京都大学大学院医学研究科エコチル調査京都ユニットセンター  
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 分子生物実験研究棟129号室  
Tel: 075-366-7400  
mail: info@ecochil-kyoto.jp  
http://www.ecochil-kyoto.jp/

＝再生紙を使用しています＝  
平成29年2月1日発行

